

- 11月自治会部長会
- 日限山小学校地域防災拠点運営委員会の活動（横浜市民防災センター体験参加）

□ 11月自治会部長会

11月初めになり日本はコロナの感染者が劇的に減少しました。しかし、未だ世界的に終結にならず、再度の流行も懸念されています。一部コロナに関する規制は緩和されましたが、注意を万全にして、活動を継続いたしましょう。

この中で自治会は10月13日部長会を開催しました。主な議題は下記の通りです。

(1) 総務部から今年度は3年毎の会員名簿の改定を行うが従来会員名簿の作成は搭載の広告スポンサからの収入で作成したが、今年度の作成は自治会からも作成費用の一部支援の必要になりました。この費用の支出は認可されました。

(2) 会館運営部

コロナの感染者の減少により公的規制が緩和されました。これに伴い会館の使用にかんして、一部緩和しましたが、会館使用の人数制限は従来通り当面継続しております。会館ご利用の方のご理解と支援をお願いいたします。

(3) IT委員会

10月、11月に実施したHPによる安否確認と電話による安否確認の実施のアンケート結果を報告いたしました。

両方式の安否確認は有効で今後の継続を望む方が90%以上の方が地域におられました。高齢化と大災害の可能性の高さがこのような関心を寄せられる方が多数おられることが実証実験の結果判りました、今後この方法の拡大と維持メンテ

ナンスを続けていきます。その為のIT委員会の長期的な専門ノウハウを自治会としても保持する方法を議論していきますが、ITの普遍性については自治会同士、区、市との連携が是非必要です。

●各部議事とは別に10月7日連合発行のトイレの速報についてのパンフレット（VOL1～3）の3部作の内、特に現在ストップしているVOL3について文書で質問を頂いた件を10月部長会に続いて相互理解を深める為に11月部長会で再度議論いたしました。日限山会員の内、多くの会員は連合の方向とは異なった意見の方や、パンフレットの内容の理解の違い等様々な反応があります。

そこで、今回の部長会で(1)連合のアンケートの正式版を頂く。(2)今後トイレに関する連合発行の配布物については事前に日限山自治会とご相談いただく。方向で意見を纏めました。

この以上の二条件を連合として進めて頂き、今後公園の将来像について多岐にわたるご意見をお持ちの会員の合意を形成していくことがこの地域の将来に最も有効と思われます。

□日限山地域防災拠点運営委員会の活動

10月20日横浜市防災センターへ防災体験の案内に参加（11名）いたしました。震度7以上の大地震の確率が非常に高まり、皆さまの自助の防災用品や防災対策の準備を宜しく願います。